



©APDA

1994年 国際人口開発議員会議 (ICPPD)

1994年にエジプトのカイロでの「国際人口開発会議(ICPD)」にあわせて「国際人口開発議員会議(ICPPD)」が開催されました。櫻井新AFPPD議長(当時)の呼びかけにより、117カ国から約300名の国会議員が集まり、協議を行いました。その結果、持続可能な開発の実現と人口問題の解決が不可分なことを訴えかけ

「持続可能な開発を可能にするような、新しくより広い経済政策を策定し、それに基づいて国際的な合意を築き上げることが必要不可欠である」という視点を打ち出しました。この宣言文は国際人口開発会議(ICPD)行動計画の「前文」と「原則」に強い影響を与えることができました。

なぜ国会議員が人口問題を扱うの？(1)

人口問題は決して強制することのできない問題です。人口と聞けば数の問題や統計の問題のように感じて敷居が高い印象を持たれるかもしれませんが、その数字一つ一つを構成しているのは一人ひとりのかけがえのない人生そのものです。その意味では一人ひとりの価値観や生活が強く反映されますし、文化

や宗教も大きな意味を持ちます。このような性格を持つ人口問題を誰かが強制することはできません。あくまで一人ひとりの人が理解し、自ら対応する必要がある問題です。特に外国の政府や国際機関がその考えを押し付けることは激しい反発を受けてしまいます。

International Conference of Parliamentarians on Population and Development (ICPPD), Cairo, Egypt, 1994

In 1994, under the leadership of the then AFPPD Chairperson, Mr. Shin Sakurai, the International Conference of Parliamentarians on Population and Development (ICPPD) was held in Cairo, Egypt, in conjunction with the International Conference on Population and Development (ICPD). ICPPD was attended by

approximately 300 parliamentarians from 117 countries, and it was agreed that population issues should be fully integrated into sustainable development policies and programmes. The declaration adopted by the participants had a profound influence on the Preambles and Principles of the ICPD Programme of Action.

Parliamentarians and Population Issues (1)

“Population issue” means the life of individual people, rather than numbers or statistics. This issue reflects people’s values, lifestyle, culture and religion, and thus governments or international

organizations cannot unilaterally impose their views and methods on people.

